

# Annual Report 2009

-ストリートチルドレン支援学生NPOの挑戦-

特定非営利活動法人 AWPS  
学生スタッフチーム

**Non Profit Organization  
Association of World Peace Support  
Student Staff Team**



私たちは1998年に社会奉仕活動を始め、2002年「世界中の子どもたちが笑って過ごせる社会を目指す」という理念のもと、特定非営利活動法人 AWPSを設立いたしました。これまで多くの方々から私どもの活動にご理解、ご支援を賜りましたことを心より感謝いたします。そして、世界同時不況の現在においてもストリートチルドレンへの支援を継続させていただける環境をとてうれしく思います。

AWPSの支援先であるフィリピンストリートチルドレン支援NGOカンルンガン・サ・エルマも2008年、創立20周年を迎えました。NGO設立当初に保護された子どもたちはすでに成人しています。これに伴い、支援も「危険な路上生活からの保護と就学支援」のみならず、「成人後の職業訓練」までを含めた総合的な支援プログラムへ徐々に変化しています。

下部組織である学生スタッフチームの活動も、従来の『チャリティー自動販売機普及活動』のほか、教育機関でストリートチルドレンの現状を伝える『インフォームプロジェクト』、NGOで生活する子どもたちが作った「アクセサリー」や「ポストカード」などのチャリティーグッズを販売する『チャリティープロダクトプロジェクト』など多様化しております。

学生スタッフチームは、まだまだ発展途上の組織ですが、日々試行錯誤しながら様々な活動を行い、支援先にとって必要とされる支援を継続していきたいと考えております。皆様のより一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2009年4月1日

特定非営利活動法人AWPS  
理事長 藤田 信康

まず長きにわたり、AWPS学生スタッフチームを支えてくださる支援者の方々に厚く御礼申し上げます。

学生スタッフチーム発足後、5年の歳月が経ち、2009年3月末をもって、設立発起人を含む3名の初期メンバーが卒業いたしました。そして、世代交代となる2009年度の代表に就任し、重責を感じておりますが、多くのスタッフと力を合わせて組織の発展のため精励いたす所存です。

AWPS学生スタッフチームは、2004年の発足後、全国にも数少ないストリートチルドレン支援学生NPOとして、フィリピンのストリートチルドレン支援活動に取り組んでまいりました。国際協力において、最も重要とされる『継続的な支援』を目指し、2006年には3つのプロジェクトポリシーを制定。現在では、学生ならではの様々なストリートチルドレン支援プロジェクトを展開しております。

この度、第6期(2008年10月～2009年3月-第6期は事業年度変更のため6ヶ月間-)の活動報告と第7期(2009年4月～2010年3月)の活動計画をまとめましたAnnual Report 2009を発行いたしました。

ご一読いただき、学生スタッフチームの活動をご理解いただければ幸いです。

全国で60名を超える中学生～大学生の学生スタッフがー丸となり、ストリートチルドレン支援活動に取り組み、自己啓発に努め、人間性を育むことを目指し、第7期も全力で進んでまいります。

今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2009年4月1日

特定非営利活動法人AWPS  
理事 兼 学生スタッフチーム代表  
高田 善國

**Non Profit Organization**  
**Association of World Peace Support**  
**Student Staff Team**



正式名称: 特定非営利活動法人 AWPS 学生スタッフチーム(SST)  
 設立年度: 2004年7月  
 基本理念: 『世界中の子どもたちが笑って過ごせる社会を目指す』  
 活動モットー: 『できる時に、できる人が、できることを…』



[ミーティングの様子]

プロジェクトポリシー: ①日常を通じたボランティア活動を社会に提案する  
 ②支援の成果を支援者が認識できるシステムを構築する  
 ③すべてのプロジェクトにおいて企業との協働を目指す

主な活動: ①チャリティー自動販売機普及活動  
 ②小学生～高校生の学生にストリートチルドレンの現状を伝える活動  
 ③フィリピン マニラへのスタディーツアー  
 ④イベントの開催及びイベント等でチャリティーグッズを販売する活動  
 ⑤企業に対する社会貢献活動の提案  
 ⑥その他の活動

役員:	総代表	畠山 洋子(神戸大学4年生)*
	代表	高田 善國(慶應義塾大学3年生)*
	副代表	磯崎 洋(甲南大学4年生)*
		藤澤 憲人(関西学院大学2年生)*
	マネージャー(関東ブロック担当)	岩本 奈緒(上智大学4年生)
	(九州ブロック担当)	梶原 輝史(慶應義塾大学-通信制-)
	(メディア情報担当)	橋場 諭(慶應義塾大学4年生)
	(管理部門担当)	春名 成彦(甲南大学1年生)*
	プロジェクト統括部 チーフ	森岡 麻由(甲南女子大学1年生)
	チャリティー自動販売機事業部 チーフ	上島 康治(慶應義塾大学1年生)
	広報部 チーフ	阪口 るり子(甲南大学1年生)
	総務部 チーフ	黒崎 由利恵(甲南大学1年生)
	相談役	岩佐 嘉久(副理事長・SST設立発起人)*

スタッフ数: 62名(関東ブロック:10名、関西ブロック46名、九州ブロック6名)  
 (中学生・高校生:18名、大学生:44名)

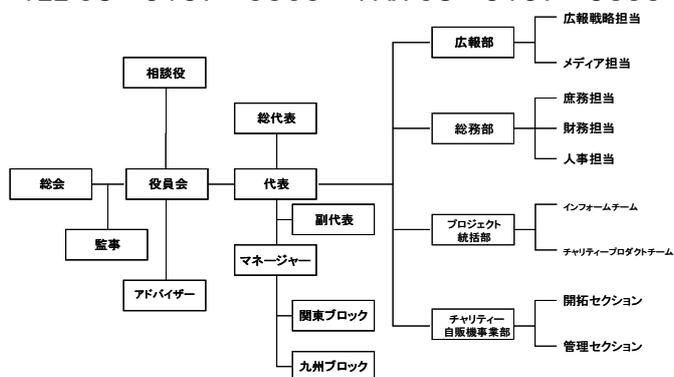
▽スタッフ数は2009年4月1日現在  
 ▽\*のスタッフは理事兼任

オフィス: 〒105-0001  
 東京都港区虎ノ門2丁目7-16 ビュロー虎ノ門502号  
 TEL 03-5157-9909 FAX 03-5157-5699



[AWPSが入居するビル]

組織図:



Non Profit Organization  
 Association of World Peace Support  
 Student Staff Team



### スタッフ研修2009春を開催(総務部人事担当)

毎年、春と夏の2回開催しているスタッフ研修も7回目となり、SSTの行事として定着してきました。今回は、参加者が少なかつたため、都市部近郊での開催となりました。今回の研修の目玉は「航空会社の元客室乗務員の方を招いてのマナー講習」。SSTのスタッフがプロジェクトを遂行する上で、最低限必要とされるマナーを講義頂きました。このマナー講習は、就職活動の時期だったこともあり、大学3年生のスタッフには、非常に好評でした。SSTでは、ストリートチルドレン支援の活動を通じて、学生スタッフ一人ひとりが成長することを重視しており、今後とも、同様のセミナーを開催していく予定です。また、今回はスタッフ研修恒例のスポーツ大会などスタッフの交流を深めるためのイベントは、行われませんでした。次回のスタッフ研修からは、スタッフの交流を深めるイベントも開催する予定です。

現在、関東・関西・九州と3つの地区ブロックを抱えるSST。活動地域も年齢も異なったスタッフが協力して、プロジェクトを遂行するには、スタッフ間の交流が肝要です。スタッフ研修は、スタッフ同士の交流を深め、プロジェクトを円滑に遂行するための大きな役割を担っています。



### SSTスタッフ牧野良が支援先団体カンルンガンに滞在(SSTプロジェクト統括部)

SSTスタッフで筑波大学3年生の牧野良が2008年10月8日から約3ヶ月間、マニラの支援先NGOであるカンルンガン・サ・エルマに滞在いたしました。滞在中には、カンルンガンのソーシャルワーカーに同行し、ストリートで暮らす家族を訪問するなどストリートチルドレン支援活動に従事しました。現地での活動の様子は、SST活動ブログでご覧いただけます。



### カンルンガン募金箱の設置(総務部財務担当)

様々なサイクルショップを運営されている株式会社ベストバイ様の41店舗において、カンルンガン支援のための募金箱を設置していただきました。2009年3月末には、全店舗から募金を回収していただき募金をお預かりしました。



### SST活動ブログ開設とホームページリニューアル(広報部メディア担当)

2008年10月よりSST活動ブログを開設いたしました。SSTの活動や活動しているスタッフの声、またカンルンガンの子どもの状況を多くの支援者の方々にお伝えしていきます。また、AWPSホームページのリニューアル作業にも着手。さらに見やすく、より質の高いホームページを目指し、現在準備を進めております。新しいホームページは2009年10月までにオープンする予定です。

SST活動ブログ <http://ameblo.jp/awps-sst/>



### チャリティー自動販売機プロジェクト(チャリティー自動販売機事業部)

アサヒカルピスビバレッジ、サントリーフーズ等の飲料メーカーのご協力のもと運営されているAWPSのチャリティー自動販売機プロジェクト。自動販売機の広告欄にはストリートチルドレンの写真とステッカーが貼られており、消費者が通常売価で飲料を1本購入するたびに、3円～10円の支援金がAWPSに寄付されます。そして、収益の中から毎年200万円以上のお金がマニラのNGOカンルンガンに送金されています。飲料を購入するという日常の何気ない行為がストリートチルドレン支援につながるチャリティー自動販売機は全国の教育機関をはじめとする様々な場所で稼働しています。学生スタッフチームでは、『1台のチャリティー自動販売機が1人のストリートチルドレンの未来を変える』を合言葉に今後とも、AWPSのチャリティー自動販売機を普及させるべく、活動を続けて参ります。

設置台数：265台(2009年3月31日現在)



### インフォームプロジェクト(インフォームプロジェクトチーム)

中学校・高等学校などの教育機関に学生スタッフが訪問し、マニラのストリートチルドレンの現状を伝えるインフォームプロジェクト(旧AWPS授業プロジェクト)。学生スタッフが、マニラの路上で生活するストリートチルドレンと出会い、感じたことを学生の目線で、ありのままお伝えしています。

また、全国の47都道府県で各都道府県から代表校を1校ずつ選出し、インフォームプロジェクトを開催する『インフォームプロジェクト真実のバトン』は、財団法人 大阪コミュニティー財団の助成事業にご指定いただきました。(事業実施期間：2008年4月～2010年3月予定)

インフォームプロジェクトを開催した学校の生徒からは、「ストリートチルドレンの子どもたちが笑顔で生活している映像を見て元気づけられた」などの感想が寄せられています。インフォームプロジェクトチームでは、今後も



### チャリティープロダクトプロジェクト(チャリティープロダクトプロジェクトチーム)

チャリティープロダクトプロジェクトでは、各種イベントにプロモーション目的で出展し、写真パネル等を掲示して、より多くの人にストリートチルドレンの現状を知っていただく活動をしております。同時に各種イベントでは、通常よりも売価が安い上、収益が全額ストリートチルドレンに寄付されるチャリティードリンクの販売や、支援先団体カンルンガンで生活する子どもたちの手作りのチャリティーグッズ(ミサンガ、アクセサリ、ポストカードetc...)を販売しております。

また、教育機関での学園祭等のイベントで、チャリティードリンクやチャリティーグッズを販売していただく活動も行っております。

第5期までは、関西ブロック、九州ブロックで、イベントへの出展を積極的に行っていましたが、第6期からは関東ブロックでも横浜国際フェスタに出展いたしました。



Non Profit Organization  
Association of World Peace Support  
Student Staff Team



### 世界子どもの日募金開催 (SSTプロジェクト統括部)

11月20日は国連が制定した世界子どもの日です。AWPS学生スタッフチームでは、この日を含む3日間(2008年11月19日～21日)世界子どもの日募金を開催いたしました。過去にインフォームプロジェクトを実施した学校など4つの高等学校にご賛同いただき、登校時に各校生徒会や有志の皆さんが正門前で募金箱を持ち、募金を呼びかける形で行われました。また、阪急西宮北口駅とJR芦屋駅(兵庫県)では、AWPSの学生スタッフが街頭募金を行い、大勢の方々にご協力をいただきました。初の試みながら、皆様のご好意により、10万円ほどの募金が集まり、収益は全額、支援先団体であるカンルンガンに送金させていただきました。第7期以降も世界子どもの日募金を開催し、多くの方々に募金のご協力をお願いすると同時に、世界で1億人以上いると言われるストリートチルドレンについて考えていただく機会になればと思っております。

#### 【ご協力いただきました学校名】

神戸海星女子学院中学・高等学校(兵庫県灘区)  
大阪青凌高等学校・通学校(大阪府高槻市)  
聖母学院中学・高等学校(京都市伏見区)  
甲南高等学校・中学校(兵庫県芦屋市)



### カンルンガンチャリティーコンサートの開催 (SSTプロジェクト統括部)

2009年3月20日神戸市東灘区の甲南大学甲友会館に大ホールにおいてカンルンガンチャリティーコンサート2009を開催いたしました。関西圏の高等学校・中学校の音楽系クラブに所属する高校生が、自らも音楽を楽しみ、フィリピンの路上で暮らすストリートチルドレンを元気にするチャリティーコンサートを開催いたしました。開催にあたっては、ヒカリグループ様をはじめとする10社以上の企業にご協賛をいただきました。当日は200名以上のお客様にご来場いただき大成功に終わりました。また、ご来場いただきました多くの方々からご寄付やチャリティーグッズの購入などご協力を賜りましたこと心より御礼申し上げます。

事業名称:カンルンガンチャリティーコンサート2009 -ぼくらが今できること-  
Presented by HIKARI GROUP

開催日時: 2009年3月20日(金/祝)

会場: 甲南学園 甲友会館 大ホール(400名収容)

主催: 特定非営利活動法人 AWPS 学生スタッフチーム

後援: 兵庫県、神戸市、神戸商工会議所

協力: 学校法人 甲南学園(甲南大学、甲南高等学校、甲南中学校)

出演: 甲南高等学校 ブラスアンサンブル部

聖母学院高等学校 ハンドベル部

神戸大学附属住吉中学校 コーラス部

関西学院高等部 グリー部

灘高等学校・中学校 クラシック研究部

甲南小学校 有志によるストリートチルドレン作文朗読



Non Profit Organization  
Association of World Peace Support  
Student Staff Team



### 企業とのパートナーシップを強化 (SSTプロジェクト統括部)

SSTは発足以来、多くの企業にご支援いただき、企業と共同で様々なプロジェクトを遂行してまいりました。近年では、SSTが企業に社会貢献活動をご提案し、提案した活動を採用いただくケースも見られるようになりました。SSTが考える理想の企業による社会貢献活動は「各企業の事業を通じた」社会貢献活動です。

ただ、寄付を行うに留まらず、自社の製品やサービスを通じた社会貢献活動を行うことにより、大企業のみならず、中小企業でも社会貢献活動への取り組みが可能になるものと考えます。第7期は、今まで以上に企業への社会貢献活動提案を行い、企業と共同でプロジェクトを遂行するパートナーシップを強化してまいります。



#### 株式会社ベストバイ様の事例

株式会社ベストバイ様には、マニラへのリサイクルショップの進出をご提案し、現在、実現に向けて共同で準備を進めております。マニラへのショップ出店が実現した際には、店舗運営の一部をNGOカンルンガんに委託することで、元ストリートチルドレンやストリートチルドレンの親の雇用を創出する支援をご検討



### SST製作のドキュメンタリー作品が完成 (インフォームプロジェクトチーム)

2008年6月にマニラで撮影を行った、SSTと日本大学芸術学部映画学科の学生との共同製作ドキュメンタリー作品『STREET CHILD』が完成いたしました。この作品では、マニラのストリートで暮らす人々の生活の様子をご覧いただける他、作品の後半では、AWPSの支援先NGOカンルンガンのソーシャルワーカーであるロウエル氏にスポットを当て、ストリートチルドレン支援に取り組むソーシャルワーカーの仕事に密着しています。また、作品中のナレーションは女優で、映画『千と千尋の神隠し』の主人公 荻野千尋の声を担当されている柘瑠美さんにご協力いただきました。DVDの貸出を行っておりますので、ご希望の方はAWPSのオフィスまでお電話でご連絡ください。

### SSTサポーター・スポンサー制度 (総務部財務担当)

SSTでは、今まで企業を対象にご協力をいただいております、SSTスポンサー制度に加え、個人を対象としたSSTサポーター制度と、SSTと共同でプロジェクトを遂行する企業向けのSSTパートナー制度を新設いたしました。各種制度にご協力いただいた方々には、現地NGOからレターが届くなど、支援の意義を感じていただける制度になるよう努めて参ります。

### 財団への助成事業の積極的な申請 (総務部財務担当)

SSTでは現在、一部の事業(プロジェクト)を大阪コミュニティ財団や地球市民財団の助成事業として運営しております。第7期も積極的に各種財団へ助成事業の申請を行い、より多くの個人・団体を巻き込んだ事業(プロジェクト)の運営に努めて参ります。

Non Profit Organization  
Association of World Peace Support  
Student Staff Team



### チャリティー自動販売機プロジェクト(チャリティー自動販売機事業部)

チャリティー自動販売機事業部では、第7期で25台の新規設置を目標にしています。近年、自動販売機1台あたりの年間売上本数は減少傾向にあり、チャリティー自動販売機も同じ傾向にあります。そのため、年間の寄付金額は毎年少しずつ減少しています。チャリティー自動販売機の収益を柱とするストリートチルドレン支援活動を継続していくためには、年間で20台程度のチャリティー自動販売機を新たに設置する必要があります。また、現在チャリティー自動販売機を設置いただいている支援者の方々に支援の成果を実感していただけるシステムも第7期中に構築する予定です。

### インフォームプロジェクト(インフォームプロジェクトチーム)

インフォームプロジェクトでは、第6期に完成したドキュメンタリー作品をプログラムに組み込んだ新たなプログラムを作成しています。ドキュメンタリー作品で、マニラのストリートで暮らす人々の様子を知っていただいた後、現地に渡航し、ストリートで暮らす人々や保護施設で暮らす元ストリートチルドレンの子どもたちと接した経験を持つ、学生スタッフが彼らのおかれている状況等をお話します。また、今までは、高校・中学校のクラスや学年単位で、インフォームプロジェクトを実施しておりましたが、第7期からは、ボランティアサークルや有志のグループ・地域の子ども会など少人数に対してもプロジェクトを実施してまいります。また、下半期には、支援先団体カンルンガンの代表を招聘しての講演会の開催も検討しております。学生スタッフが自らの言葉で、ストリートチルドレンの様子を伝えるインフォームプロジェクト。SSTでは今後、このインフォームをチャリティー自動販売機に並ぶ、活動の柱として、プロジェクトの発展に力を注ぐ所存です。

### 世界子どもの日募金開催(SSTプロジェクト統括部)

SSTでは、昨年に引き続き、2009年11月18日～20日までの3日間の日程で世界子どもの日募金を開催いたします。昨年は4つの学校にご協力をいただきましたが、第7期は12校程度の学校にご協力いただけるように準備を進めております。また、昨年同様、学生スタッフによる街頭での募金活動も実施予定です。

### チャリティープロダクトプロジェクト(チャリティープロダクトプロジェクトチーム)

チャリティープロダクトプロジェクト(旧チャリティードリンクプロジェクト)では、SSTから飲料をご購入いただくだけで、ストリートチルドレン支援につながるチャリティードリンクの販売に加え、第6期からは、カンルンガンの施設で生活する子どもたちが、自立支援プロジェクトの一環で制作した、ミサンガやポストカード、アクセサリなどの販売も始めました。チャリティードリンクやカンルンガングッズは、学校行事向けの販売や各種イベントでのSSTスタッフによるプロモーションを兼ねた販売が中心です。第7期からはこれに加え、カンルンガングッズを常時、扱っていただける雑貨店の開拓も始め、カンルンガングッズをより多くの人にご購入いただける環境づくりに努めてまいります。また、インフォームプロジェクトを実施した学校の生徒による新たなカンルンガングッズの企画にも取り組む予定です。

そして、第7期、最も力を入れて取り組むのが、カンルンガンが経営する農地でとれたコーヒーや黒コショウの販売です。カンルンガングッズの取り扱い店舗の開拓と同時に、コーヒーや黒コショウを扱っていただけるカフェやレストランの開拓にも力を注いでまいります。



**Non Profit Organization  
Association of World Peace Support  
Student Staff Team**



### スタディーツアーの開催 (SSTプロジェクト統括部)

SSTでは、2006年よりフィリピンマニラの支援先団体カンルンガンやカンルンガンが支援する子どもたちが住むストリートへの訪問を目的としたスタディーツアーを毎年夏に開催してまいりました。最近、学生を中心にスタディーツアーのニーズが高まっており、大手旅行会社もスタディーツアーの企画に乗り出しつつあります。SSTでは、第7期より、毎年夏に開催しているAWPS主催の通常のスタディーツアーに加え、2つの新たなタイプのスタディーツアーを開催する予定です。1つ目は、株式会社JTB西日本教育旅行神戸支店と共同で企画・開催するスタディーツアー。そして、2つ目は、各種団体や大学のサークル等のグループ単位で、ツアーの日数・訪問先を自由に選択できるオーダーメイド型のスタディーツアーです。これらのツアーを加えることにより、より多くの方々にカンルンガンへ訪問していただき、ストリートチルドレンの現実や彼らが本当に必要とする支援を肌で感じていただけるものと確信しております。すべてのツアーにおいて、株式会社JTB西日本にツアーの手配を委託し、添乗はAWPSのスタッフが、空港での出迎え等は、同社の現地協力会社がそれぞれ対応致します。また、すべてのツアーの全行程において、AWPSの現地スタッフ・カンルンガンの担当スタッフが同行し、ツアーの安全面において万全の体制を整えております。



### 地球市民財団助成事業 (SSTプロジェクト統括部)

SSTでは、財団法人地球市民財団の助成事業として、選抜した高校生(3名～5名)をマニラの支援先団体カンルンガンへ派遣し、ソーシャルワーカーの業務を体験するプロジェクトを第7期に遂行致します。SSTの中核プロジェクトであるインフォームプロジェクトを開催した学校の生徒を対象に、プロジェクト参加者を募り、2009年12月に国内での選考合宿を経て、2010年3月中旬に選抜した高校生を6日間カンルンガンに派遣します。派遣中は、カンルンガンの施設に宿泊し、ストリートでの生活を経て、保護された元ストリートチルドレンの子どもたちと交流を図り、日々ストリートチルドレンの支援活動に従事するソーシャルワーカーの業務に同行することで、参加者にストリートチルドレン支援の現場を肌で感じていただきます。派遣中は、SSTの学生スタッフが添乗し、全行程において、AWPSの現地スタッフ・カンルンガンの担当スタッフが同行する万全の体制を整えております。

※派遣に関しては、一部の経費は参加者負担となりますが、大半の旅費を財団の助成金から捻出致します。

### カンルンガンチャリティーコンサートの開催 (SSTプロジェクト統括部)

第6期に初の開催となりましたカンルンガンチャリティーコンサート終了後、多くの方々から称賛を賜りました。また、来場者の高校生からは「私たちの学校でも何らかのストリートチルドレン支援に取り組みたい」というお声掛けをいただきました。そこで、SSTでは第7期もカンルンガンチャリティーコンサートを開催する予定です。第6期の反省点を踏まえ、前回同様SSTの高校生スタッフを中心となり、2010年3月27日に開催する予定です。

**Non Profit Organization  
Association of World Peace Support  
Student Staff Team**

